

VIII 桑

1). 施肥量

(kg/10a)

項目	収穫量	堆きゅう肥	緑肥	苦土石灰	熔成 磷肥	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	目標収量 (生葉)	備考
普通密植	120	2,000	1,500	200	40	33.0	17.6	22.1	2,000	
	150	2,000		(200)	40	40.0	21.3	26.8	2,400	

※ ()は造成時に粗砕苦土石灰を10a当り2t 投入してあれば省く。

2). 時期別施肥割合

時期	春(3月中旬)	夏(5月下旬)	秋(7月中旬)	備考
割合	40%	40%	20%	

3). 施肥管理上の注意

密植桑園は畦間がよりせまいため、桑園造成後の土壌改良の実施が困難になるから、植付前に徹底した土壌改良を行っておく。園の造成にあたっては、堆きゅう肥類を3t/10a以上施し、粗砕苦土石灰は目安として2t/10a程度を全面散布し、深さ40~50cmの深耕を行い土壌とよく混ぜる。

植付2年目以降は、堆きゅう肥を年間2t/10a以上施す。

普通桑園については、堆きゅう肥を10a当り、年間2t以上を施す。鶏ふん等の過剰施用に注意が必要である。条桑育残沙は、長さ4~5cmに切断し、蚕ふん蚕沙、鶏ふん等を混ぜて、堆積し、発酵後切りかえして堆肥化してから施用する。苦土石灰は冬季に200kg/10a程度を畦間を中心になるべく広く散布して土壌とよく混ぜる。苦土石灰の200kg/10aは目安であるが、正しくは土壌診断を行って決定する。苦土石灰の一部を熔りんで置きかえる場合の施用量は、深さ10cmの土壌について磷酸吸収係数の5%相当量を施すが、新改植園では植溝に、既植園では枝元に施用する。